

福岡3号 交通安全対策【直轄】

新規

道路-1

- 当該箇所は、曲線半径が小さく視距も十分に確保されていないため、自動車の走行安全性が確保されておらず、交通事故の危険性が非常に高い状況。
- 本事業において、S字カーブの線形改良を行い、走行安全性の確保を図る。

○国道3号 下辺春視距改良

《位置図》



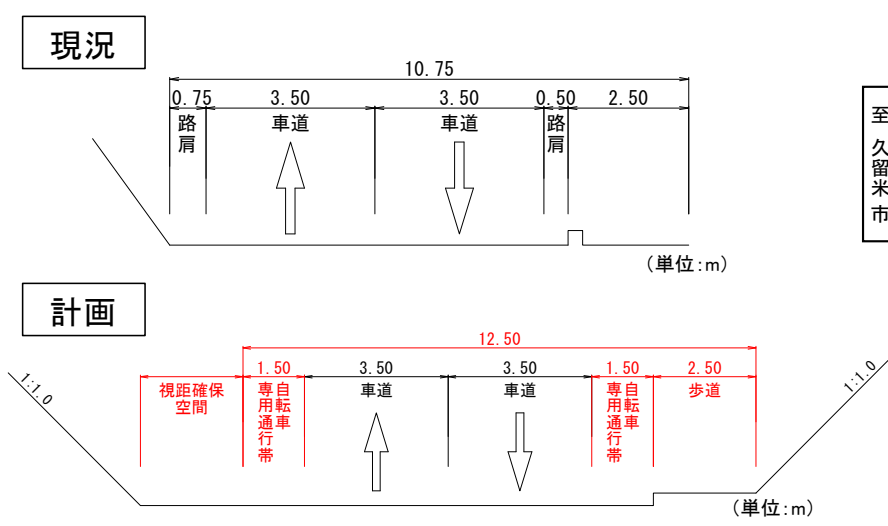
《諸元等》

事業区間：福岡県八女市立花町下辺春
 延長：0.7km
 R6当初：0.1億円（事業費）

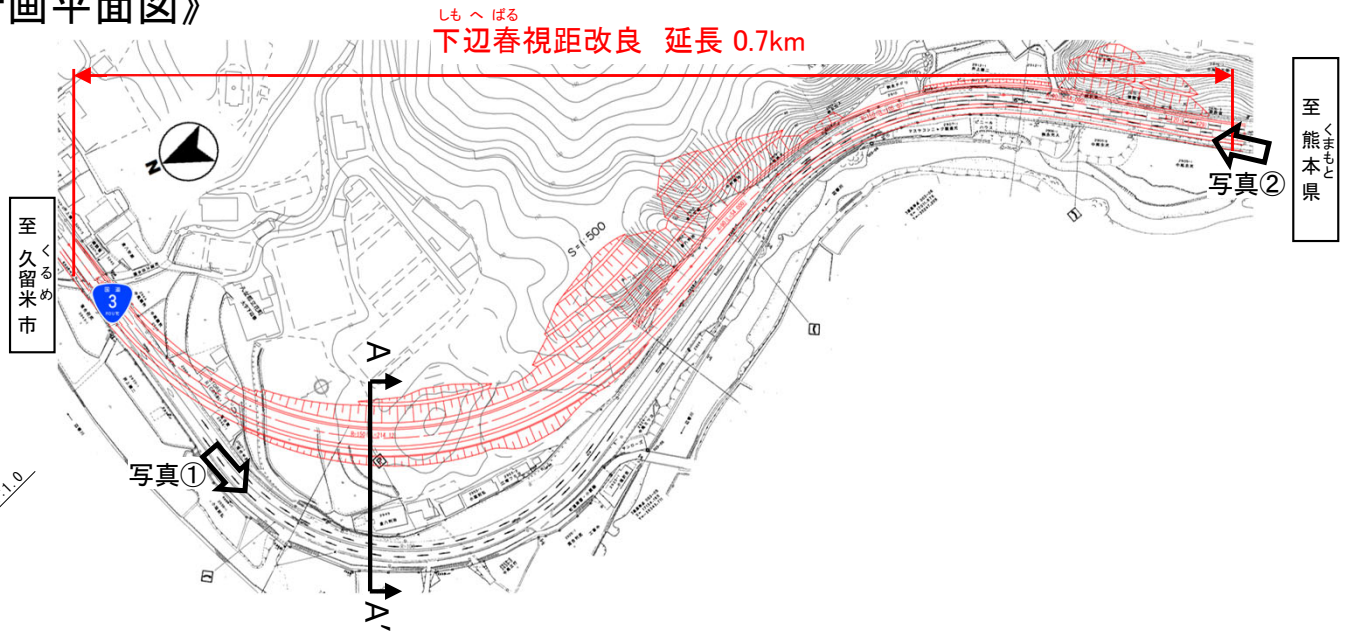
《現地状況写真》



《計画横断面図》(A-A断面)



《計画平面図》



国道201号 八木山バイパス【直轄】

部分開通 道路-2

■国道201号八木山バイパスは、福岡都市圏と筑豊地域を結ぶ国道201号の2車線区間を4車線化することにより、交通ボトルネックを解消し、信頼性の高いネットワークを構築するとともに、対面通行区の解消による安全・安心の確保を目的とする4車線拡幅事業。

■八木山バイパスの整備により、事故や積雪時のスタック車両等による交通規制のリスクが軽減され、物流の速達性、定時性が確保されることで地域産業の支援に期待。



《諸元等》

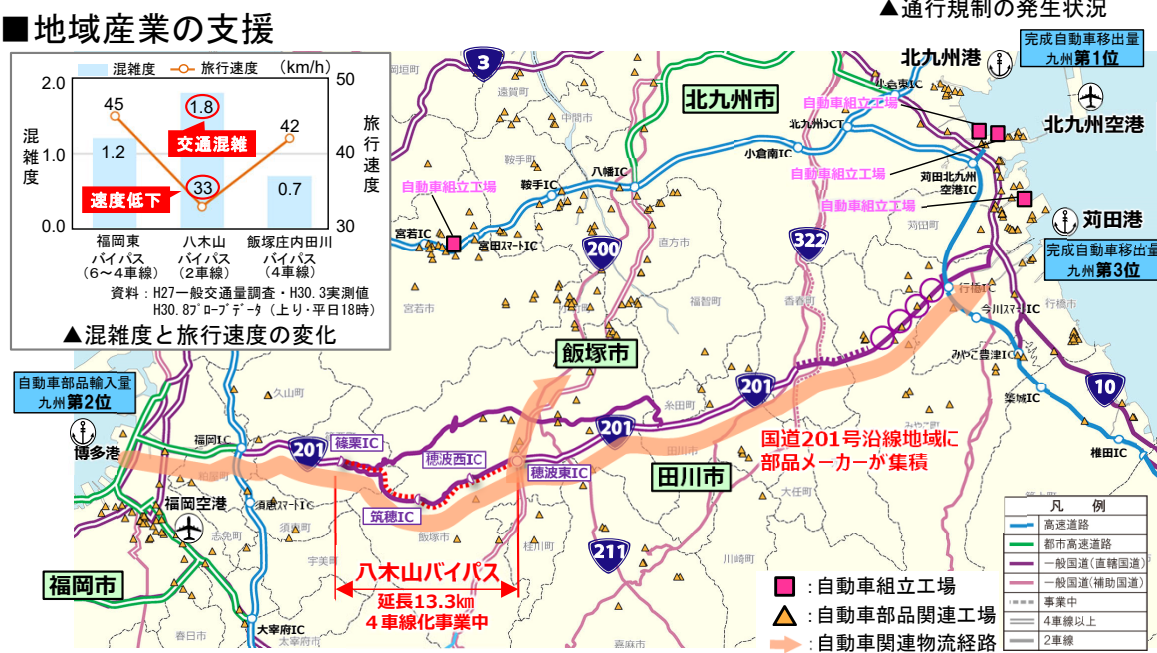
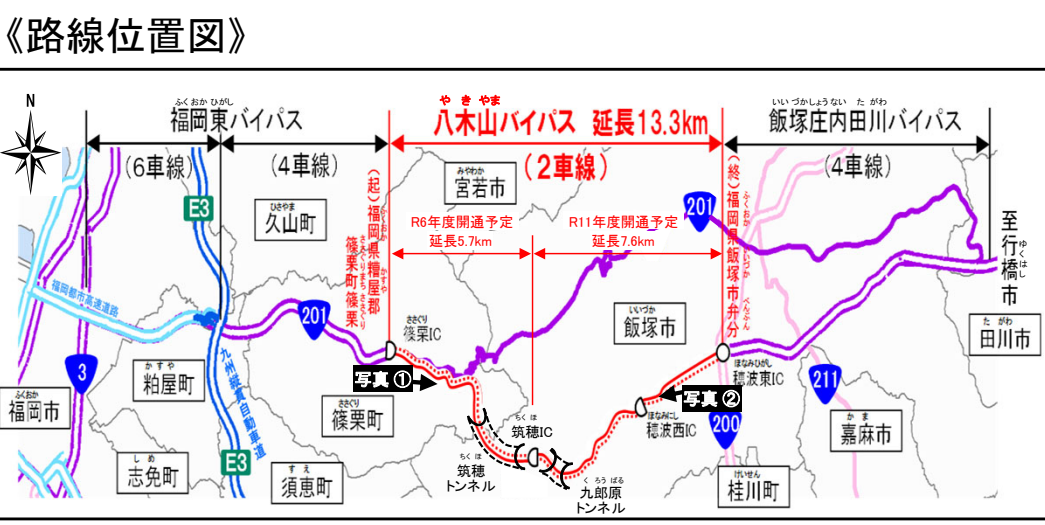
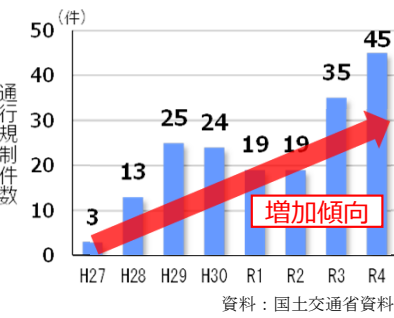
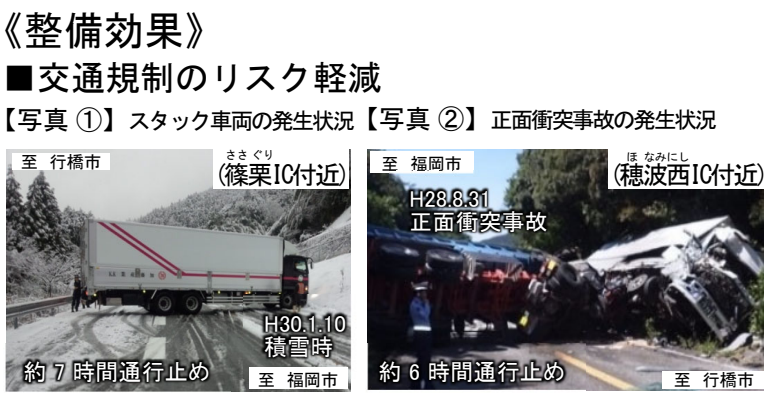
事業区間：福岡県糟屋郡篠栗町篠栗
～飯塚市弁分

延長：13.3 km

全体事業費：381億円

R6当初：52.4億円（事業費）

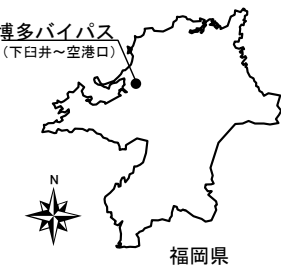
※有料道路事業と公共事業の組み合わせによる整備方式



国道3号 博多バイパス(下臼井~空港口)【直轄】

■国道3号博多バイパス(下臼井~空港口)は、福岡市北東部に位置し、交通環境(渋滞)の改善を目的とする道路。
 ■博多バイパス(下臼井~空港口)の立体化整備により、多車線道路における輻輳する交通を適切に機能分担することで、渋滞緩和及び安全性の向上を図るとともに、定時性・速達性向上による物流活動や医療活動の支援に期待。

《位置図》

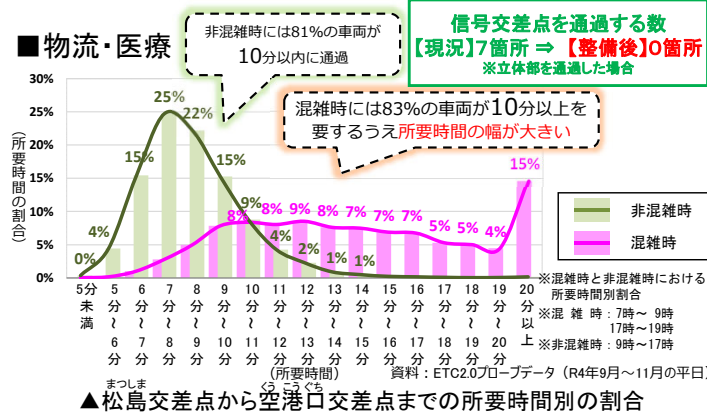


《諸元等》

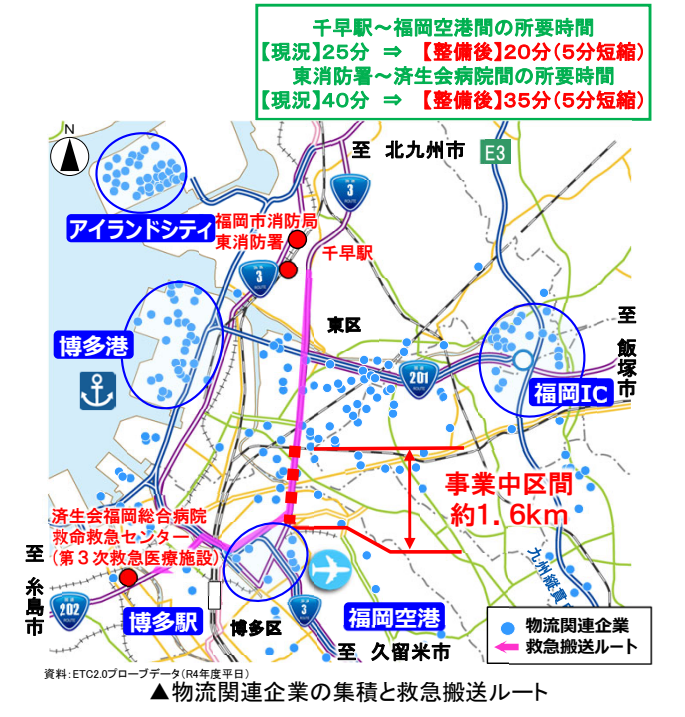
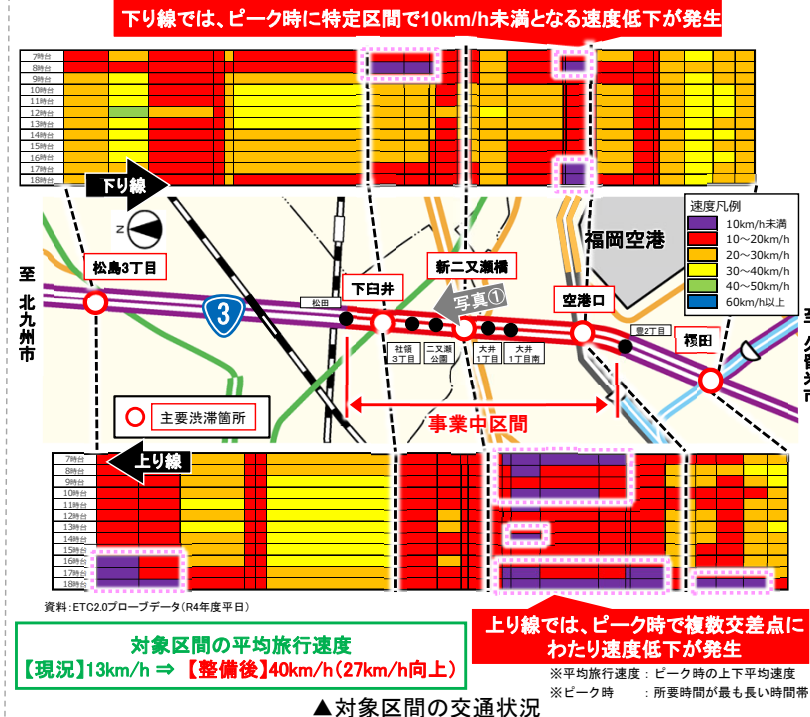
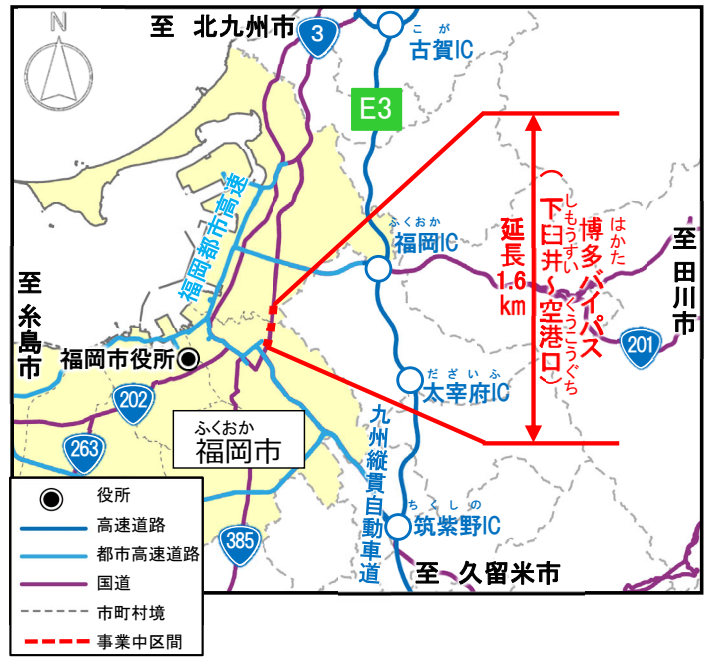
事業区間：福岡県福岡市東区二又瀬新町
 ~福岡市博多区榎田

延長：1.6 km
 全体事業費：360億円
 R6当初：5.9億円(事業費)

《整備効果》



《路線位置図》



国道208号 有明海沿岸道路(大牟田～大川) 大川佐賀道路【直轄】

継続

道路-4

■有明海沿岸道路(大牟田～大川)、大川佐賀道路は、重要港湾三池港や九州佐賀国際空港などの広域交通拠点及び有明海沿岸の都市群を連携する「有明海沿岸道路」の一部を構成する道路。

■有明海沿岸道路の整備により、災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するとともに、定時性や速達性向上による沿線地域の連携・交流促進や広域拠点との物流効率化に期待。

《位置図》

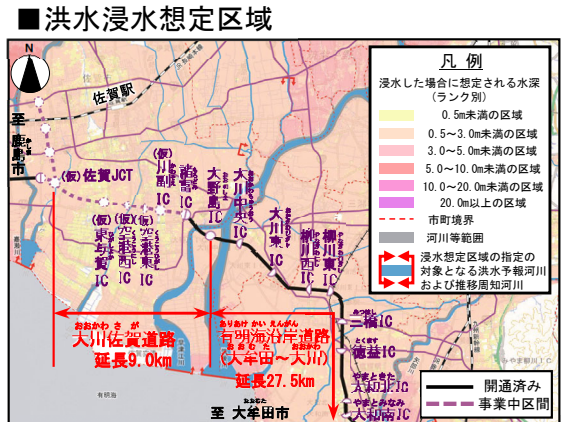


《諸元等》

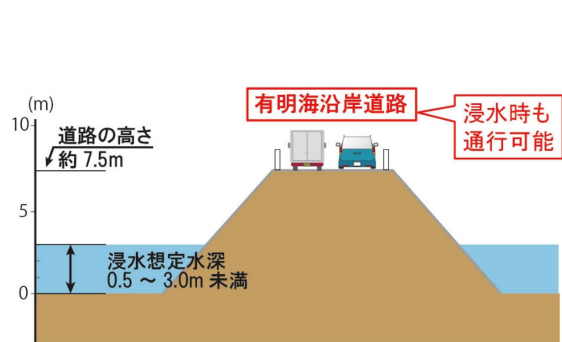
【有明海沿岸道路(大牟田～大川)】
 事業区間：福岡県大牟田市新港町～福岡県大川市大野島
 延長：27.5km
 全体事業費：2,631億円
 R6当初：26.9億円(事業費)

【大川佐賀道路】
 事業区間：福岡県大川市大野島～佐賀県佐賀市嘉瀬町
 延長：9.0km
 全体事業費：986億円
 R6当初：26.4億円(事業費)

《整備効果》



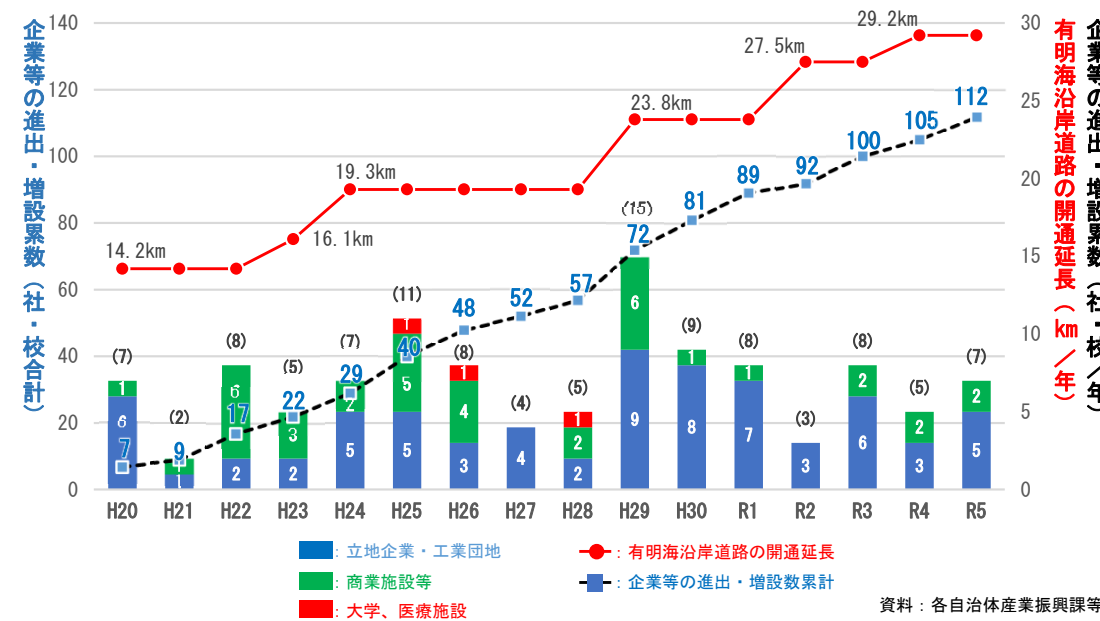
■浸水時の横断イメージ



《路線位置図》



■有明海沿岸道路沿線地域の企業等の進出状況推移



資料：各自治体産業振興課等

国道497号 今宿道路【直轄】

継続

道路-5

- 国道497号今宿道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、周辺地域の交通混雑の解消を目的とする道路。
- 今宿道路の整備により、災害時の代替路を確保するとともに、救急医療施設へのアクセス性向上による地域医療活動の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

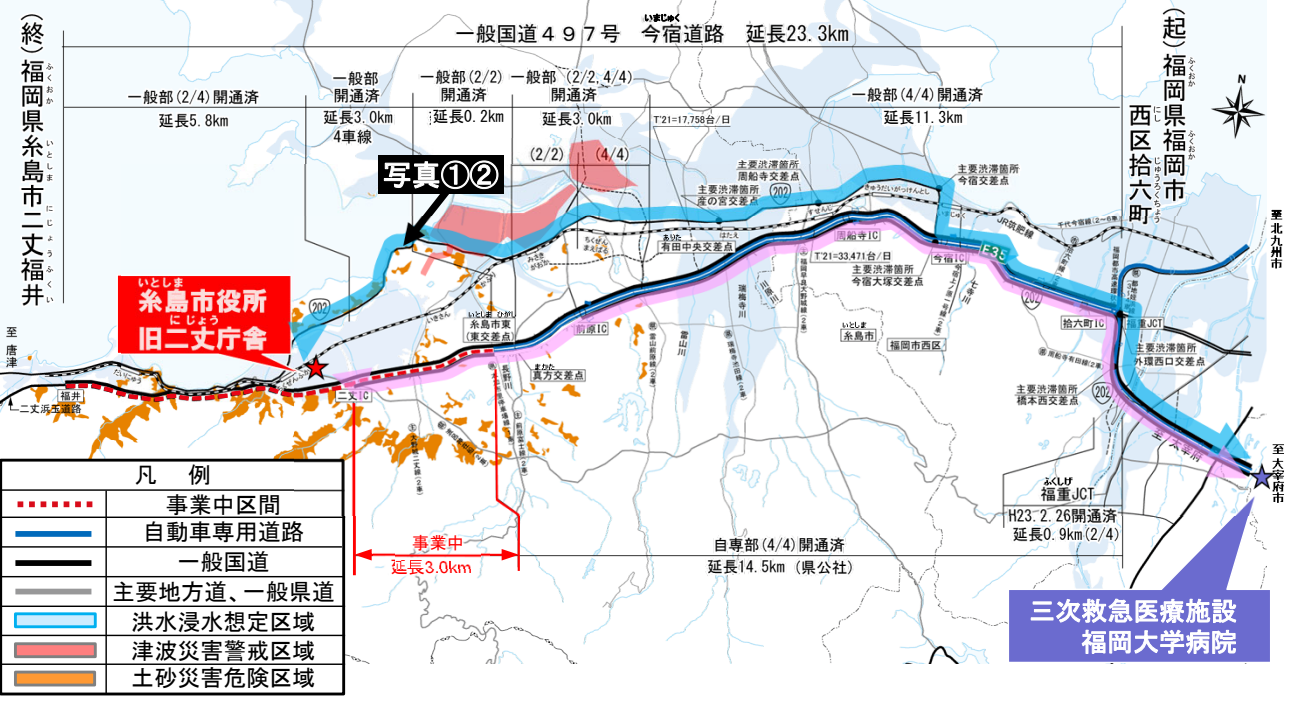
事業区間：福岡県福岡市西区拾六町
～糸島市二丈福井

延長：23.3km

全体事業費：2,791億円

R6当初：13.0億円（事業費）

《路線位置図》



《整備効果》

■ 当該道路の整備により、災害に強い緊急輸送道路として機能。これにより、道路ネットワークの機能強化を推進。



▲H22.7.13 道路冠水
(糸島市加布里地区)

▲H22.7.13 法面崩壊
(糸島市二丈浜窪地区)

■ 当該道路の整備により、三次救急医療施設への搬送時間の短縮（約56分⇒約23分）が図られ、定時性の向上により安定的な搬送を確保。

所要時間の変化



※令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）を基に、糸島市役所旧二丈庁舎から最寄りの三次救急医療施設にて算出

国道3号 鳥栖拡幅【直轄】

継続

道路-6

■ 国道3号鳥栖拡幅は、鳥栖地区における交通渋滞の緩和を図るとともに、鳥栖市街地の道路交通ネットワークを形成することにより、九州の一大物流拠点である当該地区の物流を支援する等、地域経済・産業の活性化に寄与することを目的とする4車線拡幅事業。

■ 鳥栖拡幅の整備により、物流の効率化に資する道路ネットワーク機能が強化され、地域経済活性化に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：佐賀県鳥栖市姫方町
～鳥栖市酒井西町

延長：2.4 km

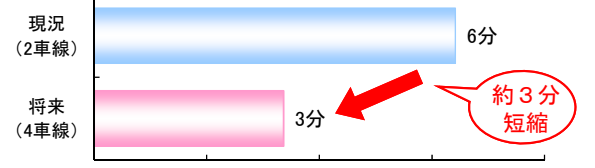
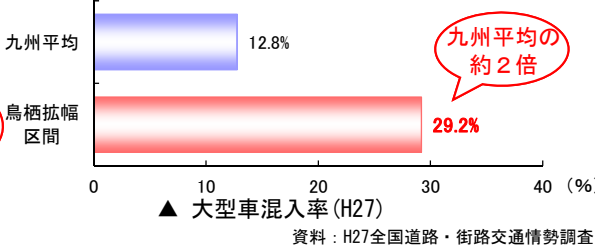
全体事業費：112億円

R6当初：8.0億円（事業費）

《路線位置図》



《整備効果》



▲ 事業中区間の交通状況 (R3.7)

国道497号 伊万里道路【直轄】

■国道497号伊万里道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、伊万里地域の幹線道路である国道202号の代替機能確保を目的とする道路。

■伊万里道路の整備により、所要時間の短縮による物流効率化や地域拠点間の連携強化等、地域産業活性化に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：佐賀県伊万里市南波多町府招
～伊万里市東山代町長浜

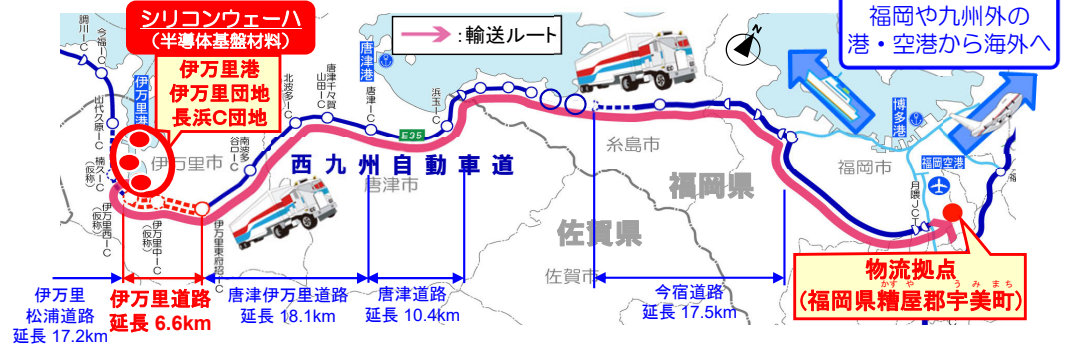
延長：6.6km

全体事業費：339億円

R6当初：11.4億円（事業費）

《整備効果》

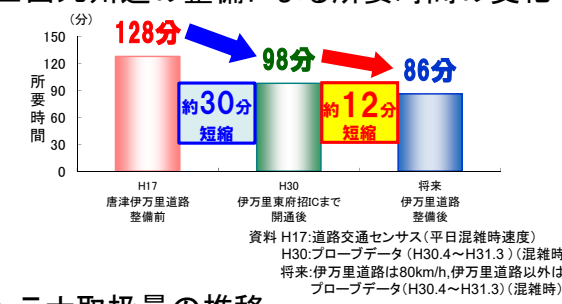
■伊万里市から福岡方面輸送時の利用経路



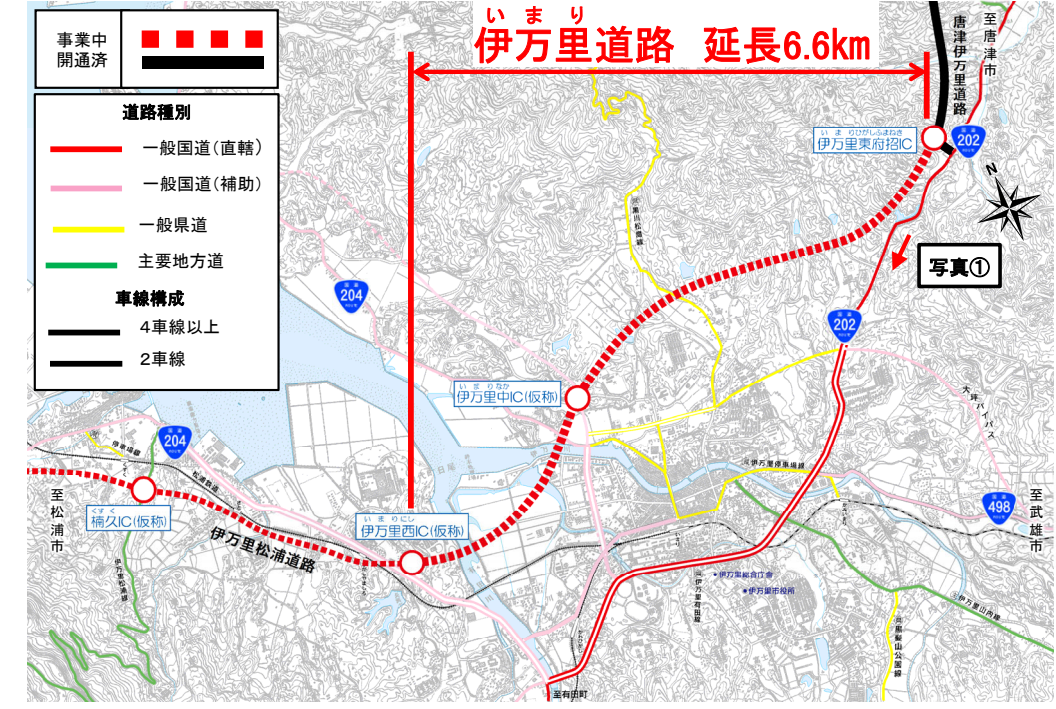
■並行現道の混雑状況



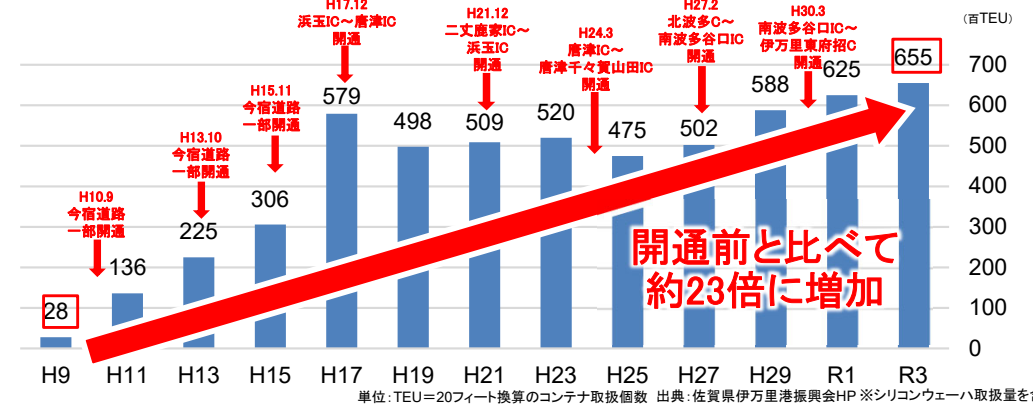
■西九州道の整備による所要時間の変化



《路線位置図》



■西九州道の開通に伴う伊万里港コンテナ取扱量の推移



単位: TEU=20フィート換算のコンテナ取扱個数 出典: 佐賀県伊万里港振興会HP ※シリコンウェーハ取扱量を含む

佐賀34号 電線共同溝【直轄】

■無電柱化は、災害時における安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を目的として事業を推進。
 ■当該箇所の無電柱化を図ることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援。

○国道34号 神辺地区電線共同溝



《諸元等》

事業区間：佐賀県鳥栖市田代大官町
 ～佐賀県鳥栖市神辺町

延長：0.9km（上り線）
 全体事業費：12億円
 R6当初：0.9億円（事業費）



《現地状況写真》



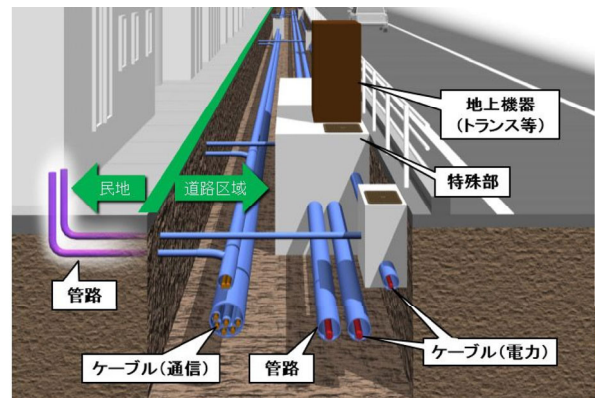
《整備の必要性》

・電柱の倒壊による道路閉塞の事例



《電線共同溝とは》

・道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する手法



国道208号 佐賀道路【補助】

- 国道208号佐賀道路は、佐賀県唐津市から佐賀市に至る沿道各都市の交流の促進及び九州佐賀国際空港や唐津港との連携を強化する「佐賀唐津道路」の一部を構成する道路。
- 佐賀道路の整備により、国道208号の交通混雑の緩和や交通安全の確保を図るとともに、災害発生時の救急・救援物資の輸送機能の強化、医療施設等へのアクセス性の向上に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：佐賀県佐賀市鍋島町森田
～嘉瀬町中原

延長：4.2km
全体事業費：447億円
R6当初：8.6億円（事業費）

《現地状況写真》

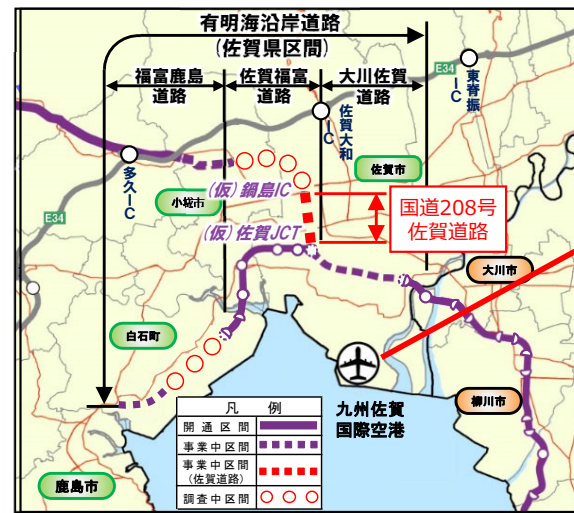


《路線位置図》



《整備効果》

- 第1次緊急輸送道路である九州横断自動車道長崎大分線と有明海沿岸道路を連絡し、災害時の輸送機能を強化
- 災害時における航空輸送施設に指定されている九州佐賀国際空港や防災航空センターへのアクセス性を強化し、迅速な救援・救助、復旧・供給活動を支援



航空輸送施設(指定)
九州佐賀国際空港、防災航空センター

▲ 佐賀県防災航空センター (令和3年3月開所)

▶ 消防防災ヘリコプター「かちどき」 (令和3年3月運行開始)

各地から佐賀道路などを使って、人員・物資などを防災センターに輸送し、防災ヘリコプターにより、孤立した被災地等への輸送が可能となる。

国道34号 歩行者利便増進道路整備事業(長崎)【直轄】

新規 道路-10

- 当該区間は、歩道等の中に歩行者の滞留・にぎわい空間を設けることを目的として、「歩行者利便増進道路（ほこみち）」に指定。
- 本事業により、ほこみち制度を活用した歩行者のにぎわい空間等を整備する。

《位置図》



《諸元等》

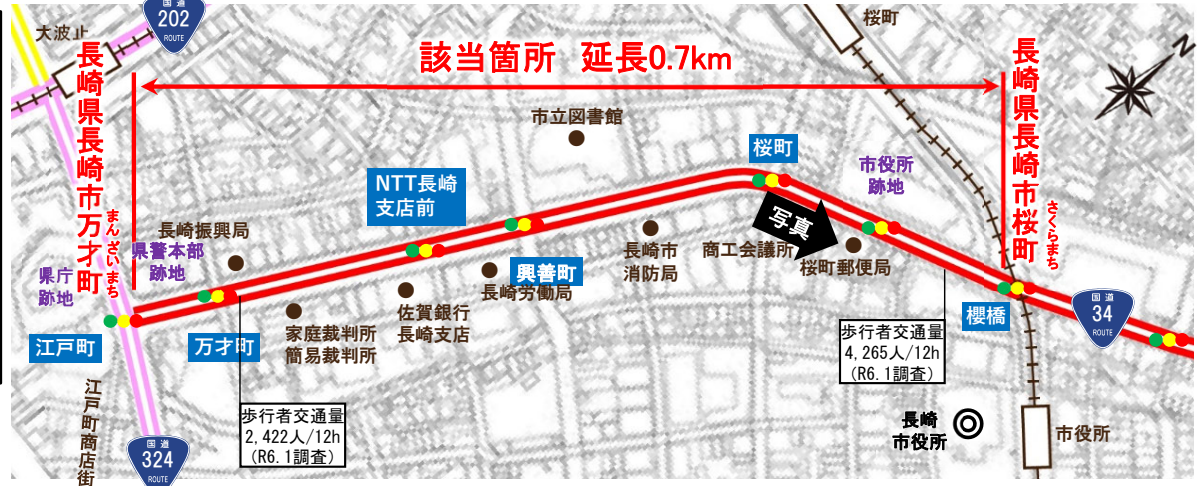
事業区間：長崎県長崎市桜町
～長崎市万才町

延長：0.7km

全体事業費：7.0億円

R6当初：0.2億円(事業費)

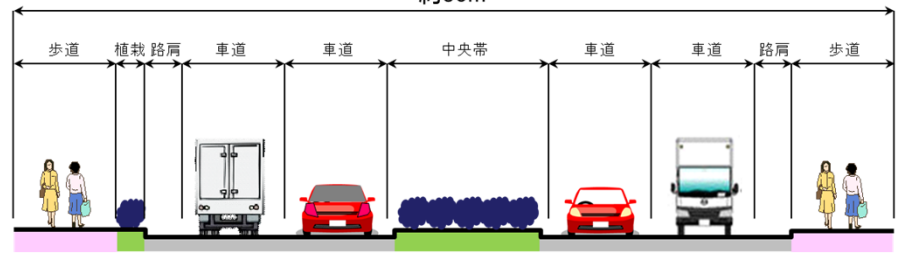
《路線位置図》



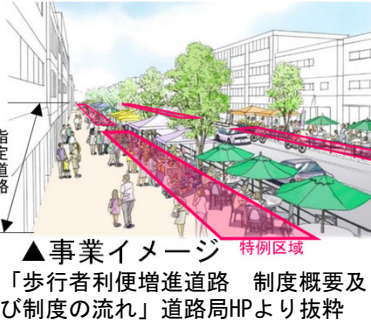
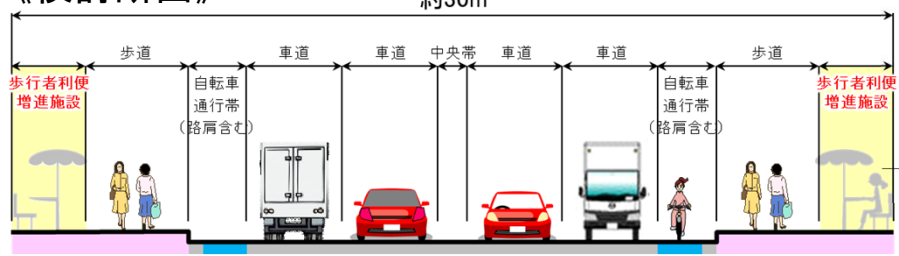
《広域図》



《現況断面》



《検討断面》



長崎34号 交通安全対策【直轄】

新規

道路-11

- 当該箇所は、下り線の長崎空港方面における右折レーンが短いため、右折待ち車両と直進車両との追突事故等が発生し上り線では交差点直近にあるバス停に起因する追突事故が発生している状況。また、近傍に小中学校が立地しているが、歩道が狭く歩行者の安全が確保されていない状況。
- 本事業において、右折レーンの延伸や歩道拡幅、バス停車帯の移設等を実施することにより、交通事故防止を図る。

○国道34号 空港北口交差点改良

《位置図》



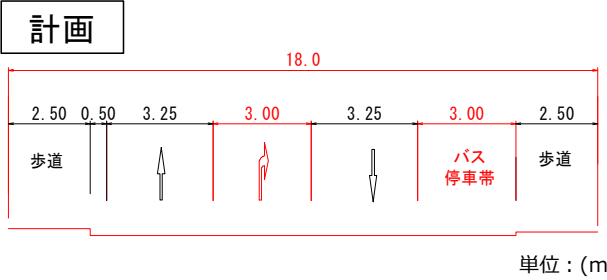
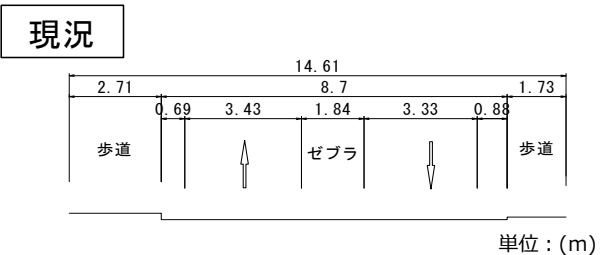
《諸元等》

事業区間：長崎県大村市寿古町
 事業量：1箇所
 R6当初：0.1億円（事業費）

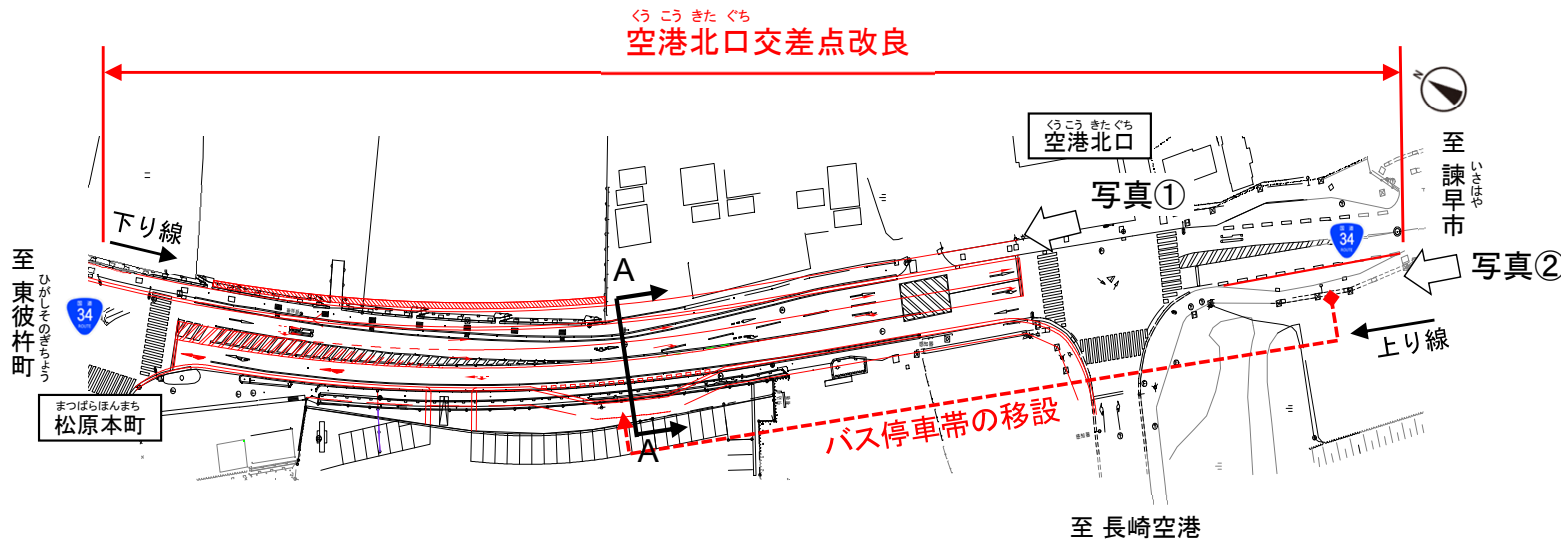
《現地状況写真》



《計画横断面図》 (A-A断面)



《計画平面図》



国道497号 松浦佐々道路【直轄】

継続

道路-12

- 国道497号松浦佐々道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、県北地域の唯一の幹線道路である国道204号の代替機能確保を目的とする道路。
- 松浦佐々道路の整備により、周辺市町へのアクセスが向上するとともに、所要時間が短縮され、新たな企業立地や雇用創出など、地域産業の活性化に期待。

《位置図》



《諸元等》

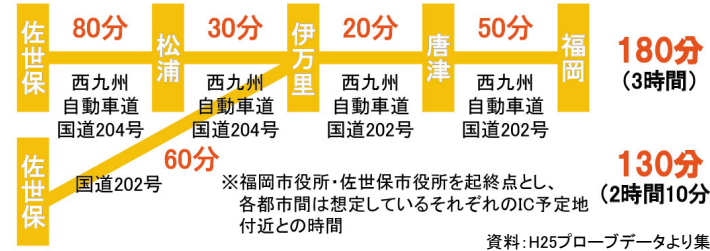
事業区間：長崎県松浦市志佐町
 ~北松浦郡佐々町沖田免
 延長：19.1km
 全体事業費：1,130億円
 R6当初：92.0億円（事業費）

《路線位置図》

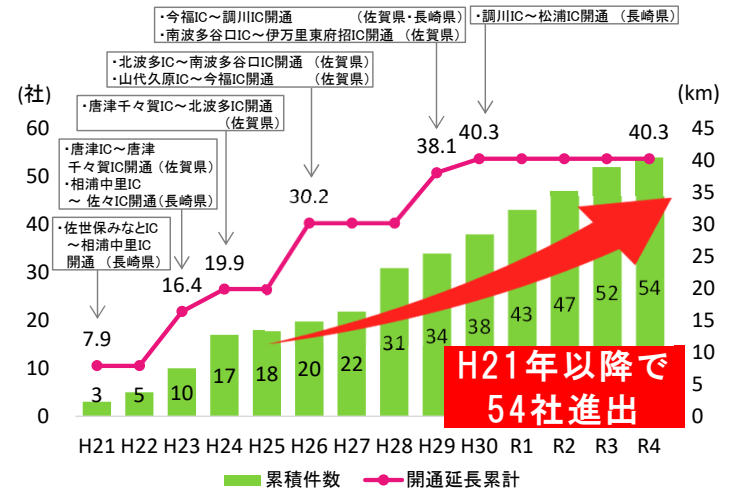


《整備効果》

【現況】西九州自動車道一部開通



【将来】西九州自動車道全開通



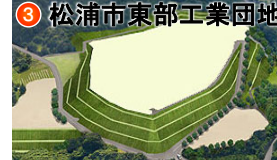
▲沿線自治体(松浦市・平戸市・佐世保市)の進出企業数推移(累積)
 ※資料：各市町村提供資料及び各市町村ホームページ



① 平戸市工業団地
 H31分譲開始
 入居率100%(R4末時点)



② ウェストテクノ佐世保
 H25分譲開始
 入居率100%(R4末時点)



③ 松浦市東部工業団地
 H25分譲開始
 入居率74.6%(R4末時点)



④ 堂山工業団地
 H30分譲開始
 入居率100%(R4末時点)



⑤ 御橋工業団地
 H22分譲開始
 入居率100%(R4末時点)

■無電柱化は、災害時における安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。
 ■当該箇所の無電柱化を図ることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な景観の形成に向けたまちづくりを支援。

○国道57号 雲仙地区(2) 電線共同溝

《位置図》



《諸元等》

事業区間：長崎県雲仙市小浜町雲仙
 延長：0.3km(下り線)
 全体事業費：8億円
 R6当初：1.4億円(事業費)

《路線位置図》



《現地状況写真》



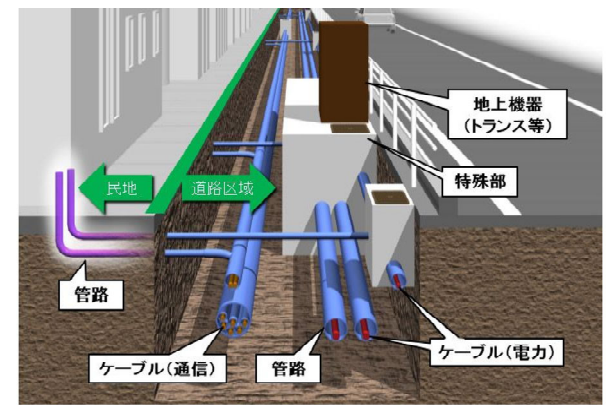
《整備の必要性》

- ・電柱の倒壊による道路閉塞の事例



《電線共同溝とは》

- ・道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する手法



国道251号 瑞穂吾妻バイパス【補助】

- 国道251号瑞穂吾妻バイパスは、島原道路の一部を構成し、島原半島地域から九州横断自動車道や長崎空港へのアクセス向上を図るとともに、搬送時間短縮による救急医療体制の強化や島原半島地域と長崎・県央地域との連携強化、災害時の代替路確保を目的とする道路。
- 国道251号瑞穂吾妻バイパスの整備により、災害時における速やかな緊急車両や一般車両の通行確保および所要時間の短縮や定時性向上による道路ネットワークの機能強化に期待。



《諸元等》

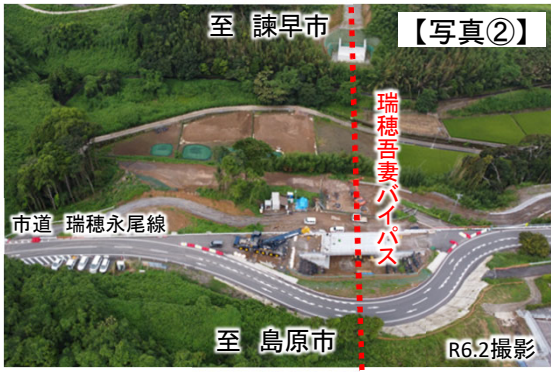
事業区間：長崎県雲仙市瑞穂町
～雲仙市吾妻町

事業主体：長崎県

延長：6.4 km

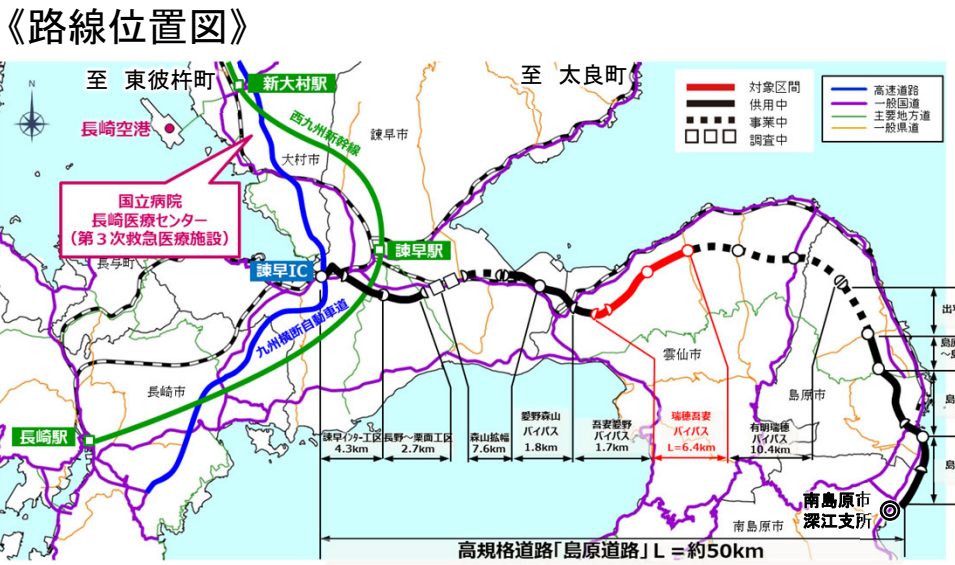
全体事業費：270億円

R6当初：10.5億円（事業費）

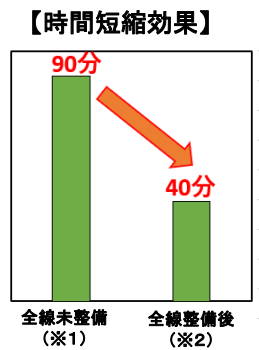


▲ 国道251号(現道)の混雑状況

▲ 瑞穂IC～吾妻東IC間の工事状況



- 《整備効果》
- 島原半島地域から九州横断自動車道までの所要時間短縮や定時性確保。
 - 島原半島地域から第3次救急医療施設への搬送時間の短縮。
 - 災害時の救急活動や緊急物資の円滑な輸送に寄与。



▲ 南島原市深江支所から諫早ICまでの所要時間



※1: H9道路交通センサス (混雑時旅行速度)
 ※2: 開通区間は規制速度未開通区間は80km/h (設計速度)

■ 対象区間
 ■ 供用中
 ■ 事業中
 ■ 調査中
 ■ 越波(H17)

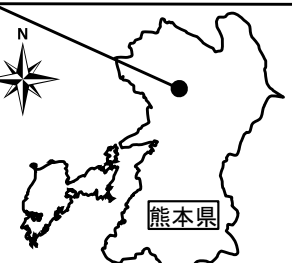
国道57号 大津道路・大津熊本道路(大津西～熊本)【直轄】 新規 継続 道路-15

■国道57号大津道路・大津熊本道路は、大分市と熊本市を結ぶ高規格道路中九州横断道路の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。

■大津道路・大津熊本道路の整備により、走行性の向上や所要時間の短縮が図られ、沿道地域の更なる地域活性化に期待。

《位置図》

国道57号
大津道路
大津熊本道路(大津西～合志)
大津熊本道路(合志～熊本)



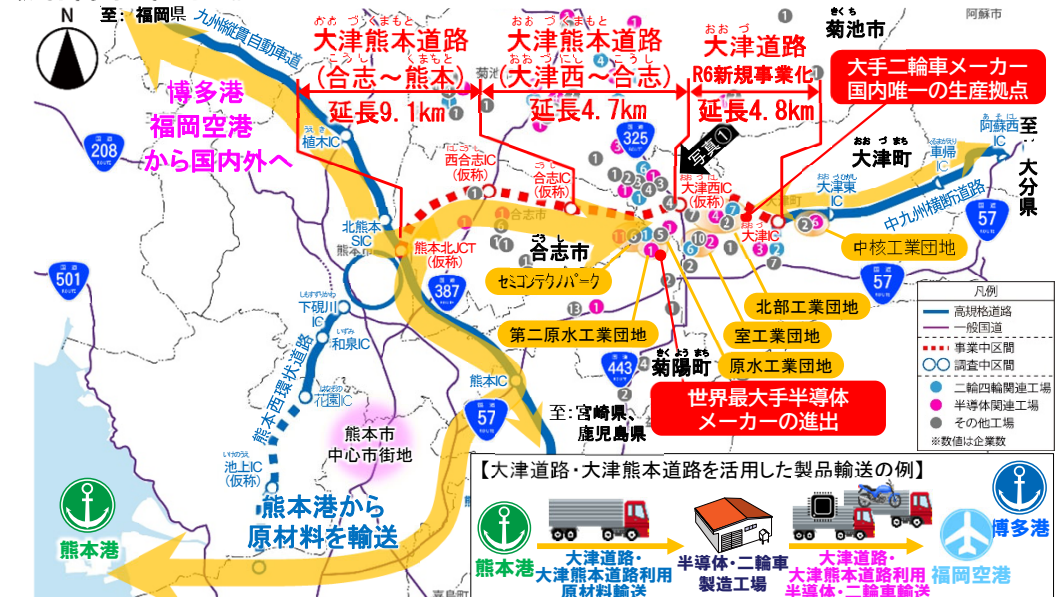
《諸元等》

【大津道路】
事業区間：熊本県菊池郡大津町大字高尾野～菊池郡大津町大字杉水
延長：4.8km
全体事業費：340億円
R6当初：0.5億円(事業費)

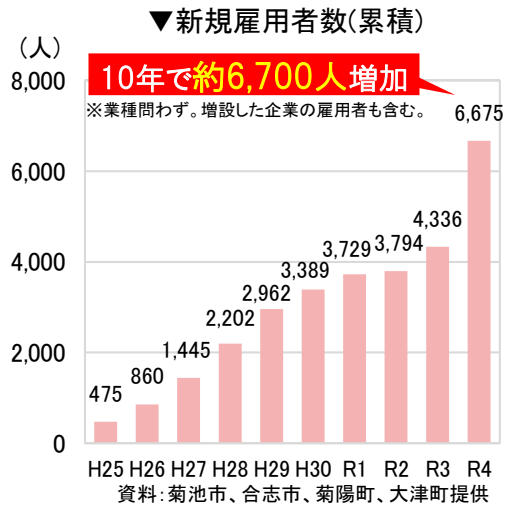
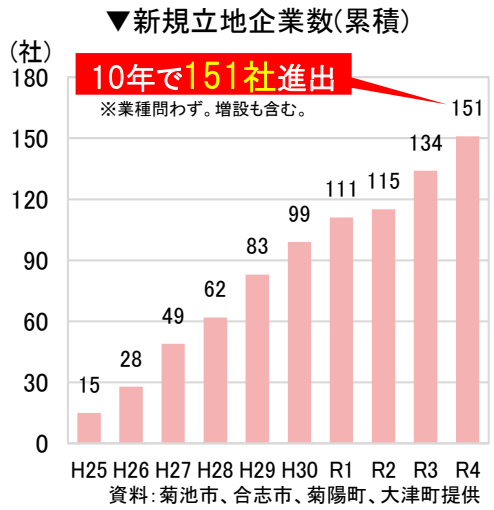
【大津熊本道路(大津西～合志)】
事業区間：熊本県菊池郡大津町大字杉水～合志市上庄
延長：4.7km
全体事業費：310億円
R6当初：3.0億円(事業費)

【大津熊本道路(合志～熊本)】
事業区間：熊本県合志市上庄～熊本市北区大鳥居町
延長：9.1km
全体事業費：530億円
R6当初：65.7億円(事業費)
(うち熊本県58.5億円、熊本市7.2億円)

《路線位置図》



《整備効果》



▼沿線への世界最大手半導体メーカーの進出(R6.2.24開所)

写真① 世界最大手半導体メーカー

投資額 約9,800億円
新規雇用者数 約1,700人予定
※R4.2.15半導体メーカー記者発表時点

おおづにし 大津西IC(仮称)

世界最大手半導体メーカー

おおづ 大津道路

(至)熊本市

R6.2撮影

国道3号 芦北出水道路【直轄】

■国道3号芦北出水道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、災害に強いネットワークの構築や、九州南西部の地域経済活性化及び高速定時性の確保を目的とする道路。

■芦北出水道路の整備により、広域ネットワークを形成することで、災害時における代替路の確保や、漁業などの地域産業の活性化に期待。

《位置図》



《諸元等》

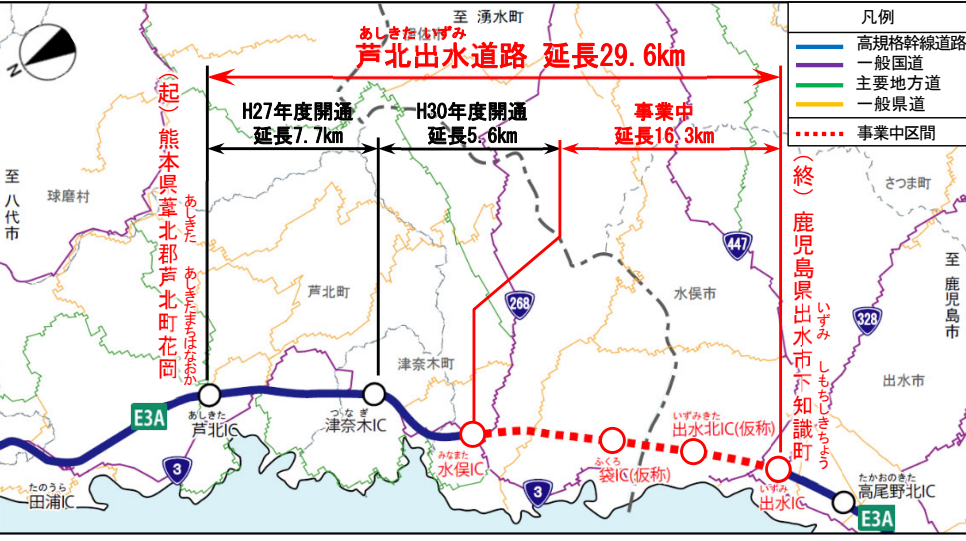
事業区間：熊本県葦北郡芦北町花岡
～鹿児島県出水市下知識町

延長：29.6km

全体事業費：1,923億円

R6当初：92.3億円（事業費）
（うち熊本県40.7億円、鹿児島県51.6億円）

《路線位置図》

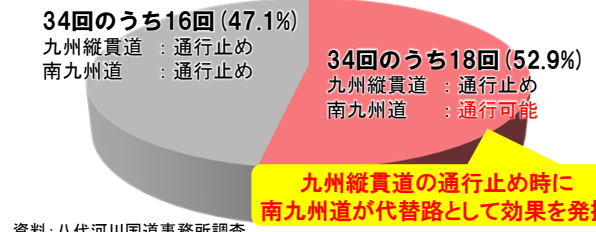


《整備効果》

■九州縦貫道と南九州道の概況図 (H26. 12. 17)



■九州縦貫道通行止め時の南九州道の通行可能割合



資料：八代河川国道事務所調査
対象：八代IC～鹿児島ICの通行止め回数（雨雪による九州縦貫道通行止め時）
期間：H24～R3

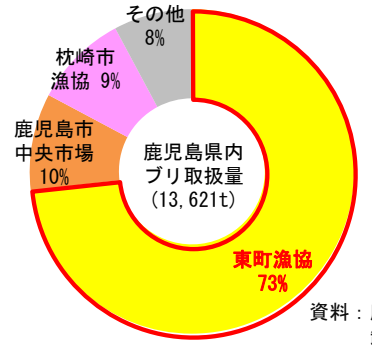
■えびのJCT付近の積雪状況 (H26. 12. 17)



■東町漁協の養殖ブリの輸送ルート



■鹿児島県のブリの取扱量



国道57号 竹田阿蘇道路【直轄】

継続

道路-17

- 国道57号竹田阿蘇道路は、大分市と熊本市を結ぶ高規格道路中九州横断道路の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。
- 竹田阿蘇道路の整備により、災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築するとともに、安定した物流ルートの形成による地域産業活動の支援や、救急医療施設へのアクセス向上による地域医療活動の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：大分県竹田市大字会々
～熊本県阿蘇市波野大字小地野

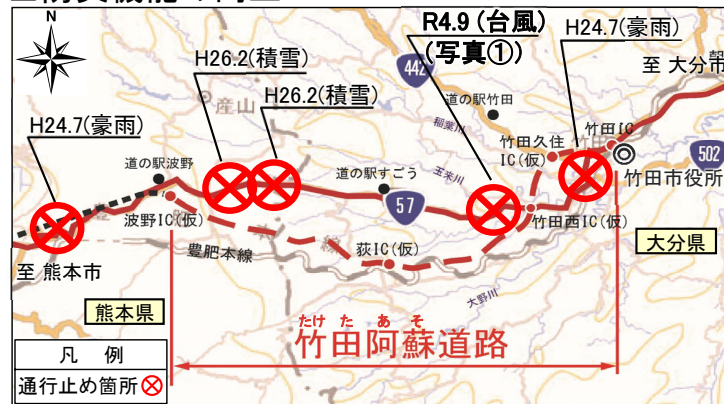
延長：22.5 km

全体事業費：769億円

R6当初：15.2億円（事業費）
（うち熊本県4.2億円、大分県11.0億円）

《整備効果》

■ 防災機能の向上



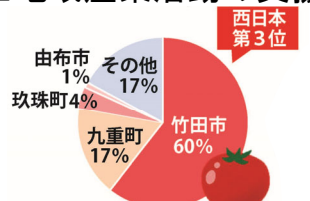
▲ R4.9 台風14号の被災状況

▲ 国道57号の通行止め状況

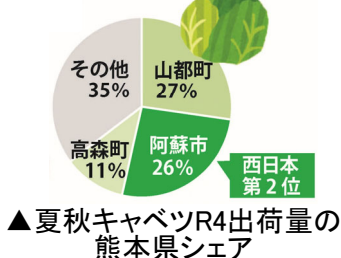
《路線位置図》



■ 地域産業活動の支援



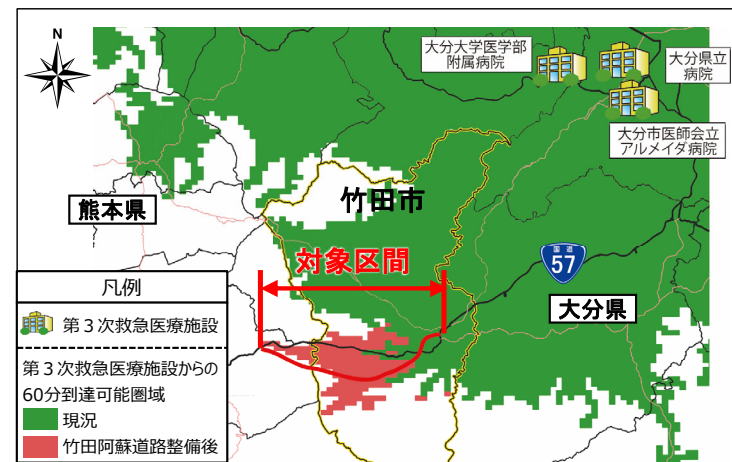
▲ 夏秋トマトR4出荷量の
大分県シェア



▲ 夏秋キャベツR4出荷量の
熊本県シェア

資料：野菜生産出荷統計

■ 地域医療活動の支援



▲ 第3次救急医療施設への60分圏域

国道57号 滝室坂道路【直轄】

継続

道路-18

- 国道57号滝室坂道路は、大分市と熊本市を結ぶ高規格道路中九州横断道路の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。
- 滝室坂道路の整備により、物流の効率化が図られることで、地域産業の活性化を支援するとともに、災害時における代替路が確保されることで、災害に強いネットワークの確保に期待。

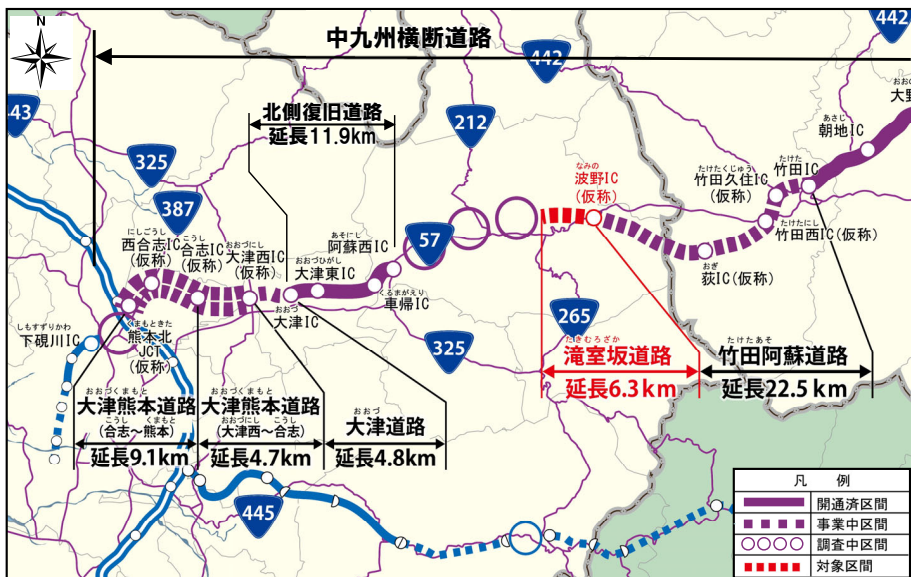
《位置図》 《諸元等》



事業区間：熊本県阿蘇市波野大字小地野
～阿蘇市一の宮町坂梨

延長：6.3km
全体事業費：661億円
R6当初：65.1億円（事業費）

《路線位置図》

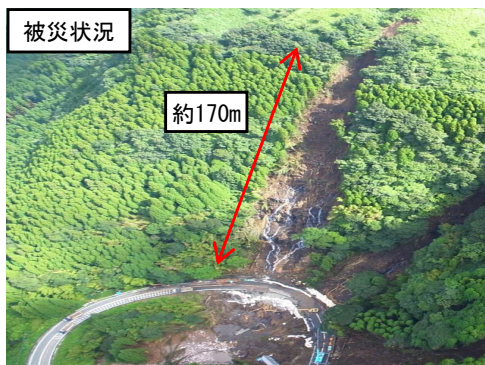


《整備効果》



※一部の経路を記載 資料：物流業者ヒアリング(R5.8)

▲ 完成二輪車の国内出荷時の主な輸送ルート



▲ H24.7九州北部豪雨の被災状況



▲ 国道57号滝室坂道路付近の事前通行規制区間と通行止め発生時の迂回ルート



資料：全国道路・街路交通情勢調査(R3)
※経路：[通常時]国道57号、[迂回時]国道212号・国道442号等経由、[整備後]滝室坂道路
※滝室坂道路は設計速度(80km/h)、その他の道路は混雑時旅行速度を用いて所要時間を算出。

▲ 二輪車組立工場～臼杵港までの所要時間



資料：熊本河川国道事務所
※R2.10.31に事前通行規制基準雨量を140mmから170mmに見直し

▲ 事前通行規制の状況

熊本3号 交通安全対策【直轄】

■当該箇所は、周辺に小中学校が立地し、住民の通勤・通学に利用されているが、歩道が未整備であるため歩行者は狭隘な路肩を通行しており安全が確保されていない状況。
 ■本事業において、歩道整備を実施することにより、歩行者の安心・安全な歩行空間の確保を図る。

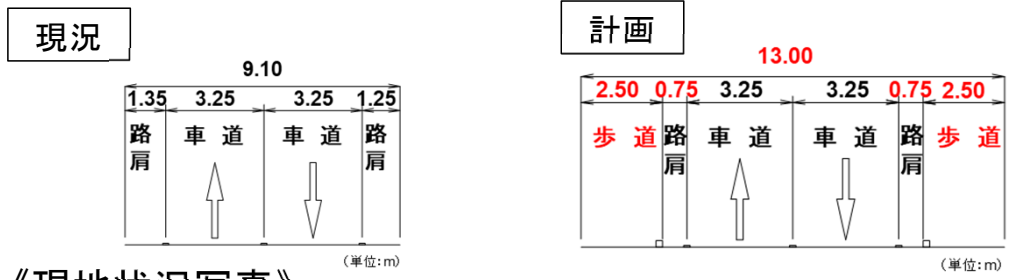
○国道3号 岩城歩道整備



《諸元等》
 事業区間：熊本県葦北郡津奈木町岩城
 延長：0.3 km
 R6当初：0.7億円（事業費）



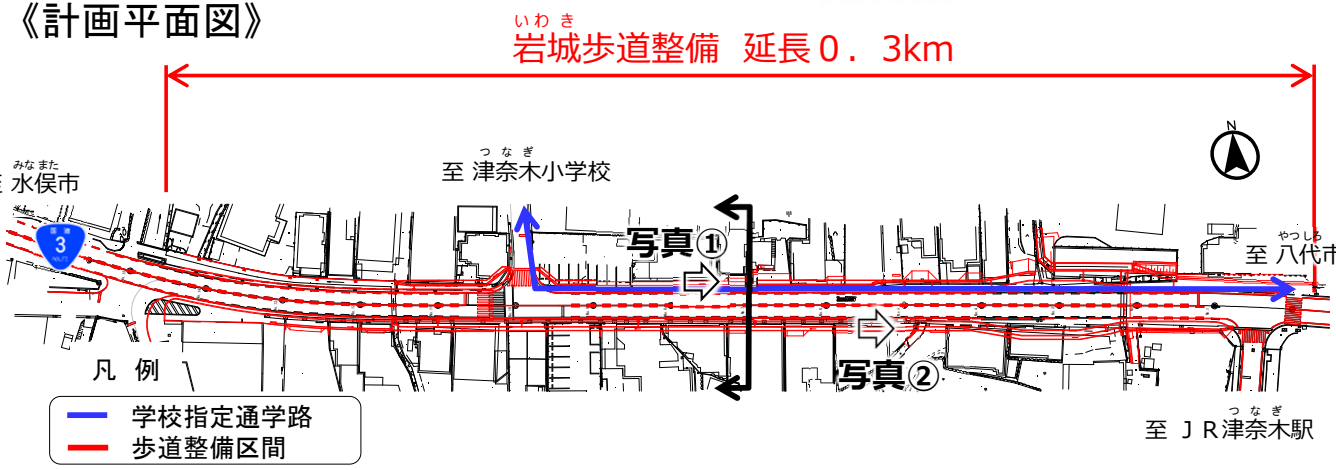
《計画横断図》 (A-A断面)



《現地状況写真》



《計画平面図》



(一) 砂原四方寄線 池上工区【補助】

■ (一) 砂原四方寄線 池上工区は、熊本環状道路の西側約12km区間の一部を構成する道路。
 ■ 池上工区の整備により、熊本市中心部の慢性的な交通混雑を緩和するとともに、熊本港などの広域交通拠点へのアクセス性向上及び物流の効率化に期待。

《位置図》



《諸元等》

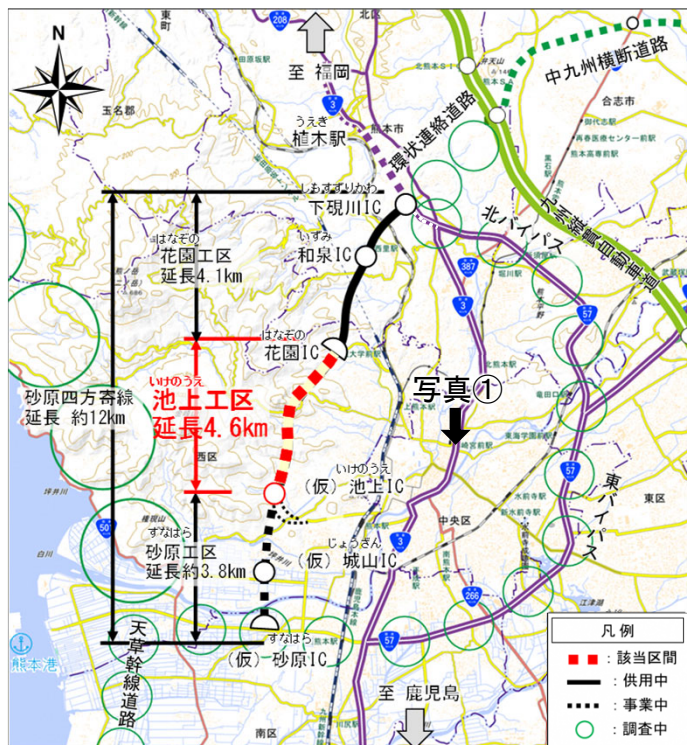
事業区間：熊本県熊本市西区池上町～花園7丁目
 事業主体：熊本県
 延長：4.6km
 全体事業費：313億円
 R6当初：22.2億円（事業費）

《現地状況写真》



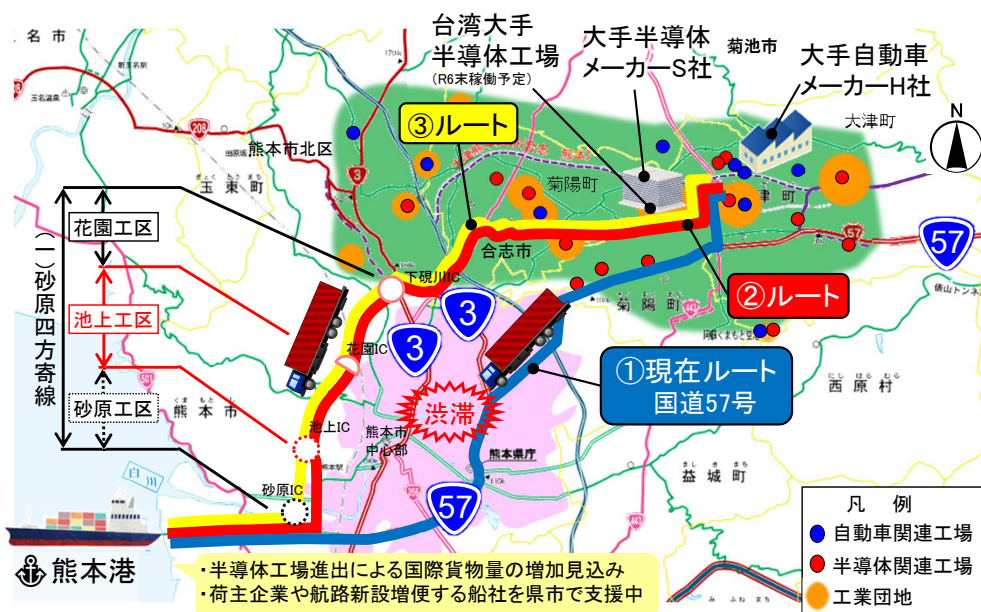
▲写真① 国道3号渋滞状況

《路線位置図》

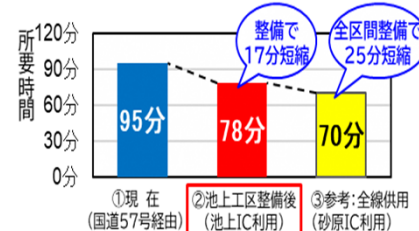


《整備効果》

- 熊本市中心部の慢性的な交通混雑の緩和を図ることが可能
- 渋滞箇所の回避により、速達性や定時性が確保され、物流の安定輸送が可能



■道路整備により期待される将来の所要時間
 大津町(H社付近)→熊本港まで(片道)



資料:ETC2.0プローブデータ (R2.9~11)
 混雑時旅行速度より算出(砂原四方寄線は設計速度)

■熊本港コンテナ取扱量

